



ワールドリポート発表会

ことばにみるアジアの文化—女ことば、男ことば—
～ネパール、ベトナム、日本～

女医、女傑、後家など性差別を助長する言葉が日本語には少なからず存在しています。また、英語にも chairman, fireman などの単語がかつて存在したことから分かるように、言葉にはさまざまなジェンダーバイアスがかかっていると言えます。アジアの国のパネリストに自国の言葉をジェンダーの視点から見つめ直してもらい、普段何気なく使っている言葉の大切さについて考えます。

- 日時 2009年7月11日(土) 13:30～15:30
- 場所 北九州市立男女共同参画センター ムーブ5F 大セミナールーム
(北九州市小倉北区大手町11-4)
- 定員 100名(どなたでもどうぞ) ※日英同時通訳あり
- 参加料 無料
- 託児 6カ月～未就学児まで。お子様の名前(ふりがな)と年齢をお知らせください。
1人300円(おやつ代含む)。
7月3日(金)までに下記にお申し込みください。



お問い合わせ、お申し込み



財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム 企画広報課

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル3F

Tel: (093) 583-3434, Fax: (093) 583-5195, E-mail: info@kfaw.or.jp

スケジュール（予定）

- 13:30 開会
13:40 国紹介① ネパール連邦民主共和国について
13:45 ネパールからの報告
14:05 国紹介② ベトナム社会主義共和国について
14:10 ベトナムからの報告
14:30 日本の事例報告
14:50 意見交換、まとめ
15:30 閉会

ぜひ参加ください



○ パネリスト

ブハワナ・ウパデヒアユ（ネパール）

第 14,16,18 期 KFAW 海外通信員*

オックスファム（貧困者救済に係る国際機関）のプログラム・マネージャーとして、ジェンダー平等と開発における社会問題を担当。南アジアを中心に生活の中の水問題と女性の地位向上に取り組んでいます。

チン・ティ・ホン・ハイ（ベトナム）

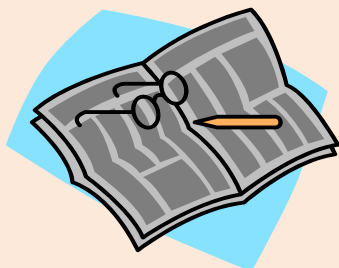
北九州市立大学国際環境工学研究科 博士前期課程 1 年

専攻は環境資源システム、経済産業省/文部科学省「アジア人財資金構想」による国費留学生です。

○ コーディネーター

水本 光美 北九州市立大学教授

留学生向け日本語教育、専門日本語教育、ジェンダーの視点から見た日本語、などを専門としています。



○ 国紹介

ネパール 松山 佳永

九州歯科大学歯学部 4 年

ベトナム 有馬 誠一

北九州市立大学国際環境工学研究科

環境資源システムコース 博士前期課程 1 年

* アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）海外通信員制度とは
アジア・太平洋地域諸国（日本を除く）在住者を中心に、毎年テーマを決めてリポートを提出していただき、各国の状況を報告してもらう制度です。今年度で第 19 期を迎え、これまでに 35 カ国、延べ 245 名の方に海外通信員として活躍していただいています。